

# 単P会長研修会

## 令和6年9月26日(木)



### 単P会長研修会「コミュニティ・スクール」

コミュニティ・スクール(以下CS、学校運営協議会制度)が、令和7年度から富士宮市内で本格実施されます。富士宮市PTA連絡協議会では、CSへのPTA活動のかかわり方などについて理解を深める単P会長研修会を、9月26日、市庁舎で開催しました。

CSは学校と地域住民が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための仕組み。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができると言われています。

研修会では市教育委員会からCSの役割や運営上の留意事項などの説明を受けたほか、すでに導入している東小PTA会長の望月成展さんが実践事例の発表を行った後、参加者でグループ協議を行いました。

望月さんは東小CSの運営について、「地域コーディネーター、PTAや地域住民が、できる範囲で教育活動やボランティア活動に参加している」と紹介。挨拶を人より先に行う運動を学校と地域で始めたところ、最近では、児童が地域住民に挨拶することが増えただけでなく、住民同士の挨拶も積極的に行われるようになったと効果を伝えました。

グループ協議では、現在の各校の活動を報告し合い、導入後を想定したかかわり方について意見を交わしました。「新たなことを始めようーではなくても、今まで行われてきた教育活動を整理し、活動に価値を付けていく」(市教委)方向性が示されたことを踏まえ、登下校の見守りや学習支援、クラブ活動の支援、環境美化活動といった連携・協働を続けていける仕組みづくりについて、活発に話し合われました。

これから、学校、地域の実情に合わせて皆で協力し、同じ方向を向いて、地域の子供を育てるために、PTAがエンジンとなって活動することが大切だと思います。

<文責>市P連広報委員 中野健太郎